

私たちが開いた！ とびっきりの新法への扉

障害者自立支援法違憲訴訟勝利集会

開催趣意書

【開催趣旨】

施行前から多くの問題が指摘され、施行後も大きな混乱と困難を障害者や事業者にもたらせた「障害者自立支援法」の廃止が昨年末に政府方針として打ち出されました。そして、「障害者自立支援法」の廃止と新法制定に向けての動きが、いよいよ具体的なタイムスケジュールに添って一挙に進み始めています。

今日のこの情勢は、「障害者自立支援法」は憲法違反だとして全国で訴訟に踏み切った京都の9名の原告をはじめとした全国71名の原告の皆さんの勇気ある行動によって創り出されました。長妻厚生労働大臣の「立法過程において十分な実態調査の実施や、障害者の意見を十分に踏まえることなく、拙速に制度を施行するとともに、応益負担の導入を行ったことにより、障害者、家族、関係者に対する多大な混乱と生活への悪影響を招き、障害者の人間としての尊厳を深く傷つけたことに対し、原告らをはじめとする障害者及びその家族に心から反省の意を表する。」との発言にもあるように、障害者自立支援法違憲訴訟の運動が世論を動かし、そしてついには国をも動かしました。

今年1月12日から始まった「障がい者制度改革推進会議」の議論は、冒頭の福島瑞穂内閣府特命担当大臣の挨拶にもあったように、「障害者自立支援法訴訟の基本合意文書」と「障害者権利条約」がそのベースとなって進められていきます。今回の「障害者自立支援法違憲訴訟勝利集会」では、障害者自立支援法違憲訴訟と基本合意文章の意義を確かめ合うとともに、これからの新しい障害福祉の地平を切り開く展望を、京都府内の関係者が一堂に集い学び合い論議する場として開催します。また本集会が、京都府民の障害者福祉への理解をさらに大きく広げていく機会となるよう開催します。

【日時・場所】

日時 2010年 5月 8日(土) 午後1時30分～5時

場所 京都テルサ 大ホール (850席)

【主催】

障害者自立支援法訴訟の勝利をめざす京都の会 / きょうされん京都支部

【内容】

オープニング 障害者自立支援法なくせの歌 「生きるために」 なかじまこういち

開会挨拶 尾崎 芳治 障害者自立支援法訴訟の勝利をめざす京都の会代表

来賓挨拶

報告 「障害者自立支援法違憲訴訟運動が切り開いてきたもの」
竹下義樹障害者自立支援法違憲訴訟弁護団長 / 障害者自立支援法違憲訴訟京都弁護団
/ 障害者自立支援法訴訟原告の皆さん / 障害者自立支援法訴訟の勝利をめざす京都の会

記念講演 「私たちが今、新しい障害福祉の地平を切り開く」 講師 藤井 克徳 氏
障がい者制度改革推進会議議長代理
日本障害フォーラム(JDF)幹事会議長、日本障害者協議会(JD)常務理事、きょうされん常務理事

参加の個人・各団体からの発言

閉会挨拶 粟津 浩一 きょうされん京都支部支部長